

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月31日(木) 三回戦

1 コート 第1試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		18 - 21 12 - 18 9 - 15 18 - 16	70	チームB
薫英女学院	57			岐阜女子
大阪				岐阜

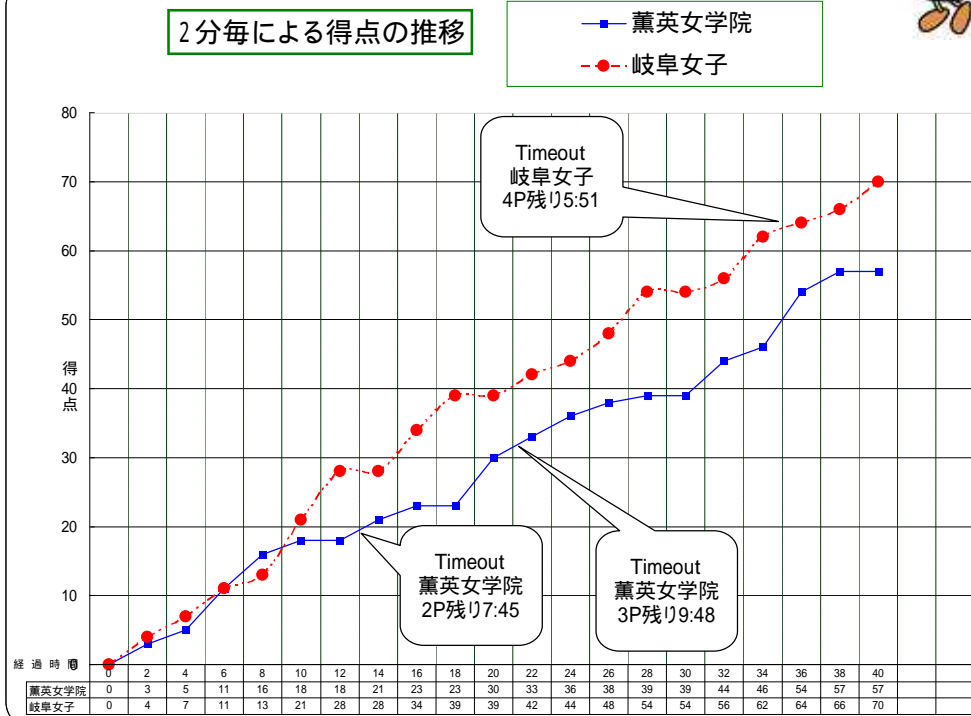
薫英女学院

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	鬼頭 真由美	X	14	0	2	6	13	2	2	1	3	3	3	0	0	0	30
5	塚本 寿美	X	4	0	2	1	2	2	2	4	1	0	1	0	2	1	14
6	山田 千晶																DNP
7	三木 ななや																DNP
8	森 仁 美	X	18	5	15	1	6	1	2	2	2	4	2	1	3	0	34
9	上畑 香奈	/	3	0	3	1	4	1	2	0	2	0	2	1	1	0	12
10	安居 爽																DNP
11	早川 結花	/	1	0	0	0	0	1	2	4	0	2	0	1	0	1	13
12	坂井 郁香	X	0	0	3	0	3	0	0	1	3	5	1	1	4	0	35
13	藤木 沙也香	/	6	2	4	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	20
14	大濱 杏華	X	11	0	1	3	10	5	7	3	6	7	3	2	2	1	40
15	吉川 裕子	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
コーチ	長渡 俊一									0	3	5	0				
出場: ×は先発、/は出場			57	7	30	12	38	12	17	17	20	27	14	6	12	3	200
確率			23.3%			31.6%											
計											47						

岐阜女子

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	宮部 悠																DNP
5	上原 希莉子	X	15	2	6	3	4	3	4	2	0	4	4	5	5	0	40
6	森本 杏奈	X	17	1	2	4	10	6	6	4	1	8	2	3	2	0	37
7	汪 怡	X	13	0	0	5	10	3	4	3	3	6	5	0	0	0	35
8	安江 舞	/	2	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
9	中村 早希	X	6	0	5	2	3	2	2	3	1	3	1	3	1	0	27
10	岡田 麻莉子	X	14	4	12	1	3	0	0	3	1	1	1	2	1	0	36
11	荒井 美鈴	/	3	1	3	0	5	0	0	2	5	0	2	0	2	0	20
12	美甘 真理子																DNP
13	尾崎 千浩																DNP
14	森澤 栞																DNP
15	杉浦 里菜																DNP
コーチ	安江 満夫									0	3	9	0				
出場: ×は先発、/は出場			70	8	28	16	37	14	16	18	14	32	15	13	11	0	200
確率			28.6%			43.2%											
計											46						

2分毎による得点の推移



戦評

安定した戦いで宇都宮中央を破り、昨年に続くベスト8入りを目指す大阪薫英、荻田の厳しい守りに後半苦しみながらも逃げ切った勝負強い岐阜女子の対戦となった。

第1P、大阪薫英は岐阜女子の#5上原をボックスワンゾーンで抑えにかかった。これが見事に奏功し岐阜女子は攻めあぐねる。一方、薫英も岐阜女子の厳しいマンツーマンに苦しみ、お互いにペースをつかめない重い時間が過ぎる。残り1分、岐阜女子の#6森本の3Pなどで18対21とリードする。

第2P、立ち上がりから岐阜女子が守りからリズムをつかみはじめる。#6森本のシュート、#10岡田の3Pで10点差に。薫英はタイムアウトをとり、セットプレーで攻めの基本をつくろうとするも、攻めきれない、残り4分、#7汪が3ファウルで退くも、岐阜女子は全員でリバウンドを頑張る、また#6森本が小気味よいパスやスティールなどでリズムを作り、17点差に広げた。残り1分、薫英は#5塚本のシュート、#14大濱のパワープレイで追い上げ、30対39で岐阜女子リードで前半を終える。

第3P、薫英はボックスワンの#5上原への当りをきつくし、ボールを持たせない。攻撃でも#4鬼頭のドライブイン、#8森本の3Pで6点差までつめる。しかしここから岐阜女子はゾーンをうまく攻め、#7汪のゴール下、#10岡田、#11荒井の3Pで39対54でリードして終わる。

第4P、連続3Pで引き離す岐阜女子に薫英#8森が連続3P、#14大濱のパワフルなプレイで立ち向かい、10点差まで詰めるも、最後はやはり、岐阜女子の#5上原、#6森本の冷静沈着なプレイでゲームをコントロールし、57対70で岐阜女子が苦しみながらも勝負所をきっちり押さえ、ベスト8入りした。

主審 中嶽 希美子

副審 緒方 崇

戦評 森保 剛志 (埼玉県高体連)